

3 ～ 曲はおれのもの ～

たかしに対する怒りがおさまらないこうたろうは、もう一度たかしに会うことにしました。今日もたかしは、町のホールでコンサート。出てくるのを待ちました。

コンサートを終えたたかしが出てきました。こうたろうは、“ひびき”の楽譜やCDを売るのがやめるようにいいました。

しかし、たかしは、こんなことをいいました。「おれは先生に楽譜を頂いたんだ。だからもうおれのものだ。まねして作った曲もおれのものだ。それをどうしようと勝手だろ」

そればかりか、こんなことまで。「CDは全世界で売ることになっているんだ。もっともっとコピーしないとな。なんなら、おまえの曲もおれの名前で売ってやろうか？先生も喜ぶだろうに。はははは」

こうたろうは、怒りを通り越して、悲しみとあきれた気持ちが強くなりました。争うこともいやになったこうたろうは、曲を作ることをやめてしまいました。

そして、ピアニストとしての夢をつぶすことにしたのです。

3のポイント

たかしは先生から楽譜をもらっていたようです。

たかしの意見はどうあつかうべきなのでしょう？

形のないものの争い。とても難しい問題です。

問い

1．自分の作品を友だちが勝手に売ります。でも、みんなの名前はどこにも書いてありません。そんなことがあったらどう思いますか？それはなぜですか？

2．こうたろうはなぜ曲を作るのをやめてしまった気持ちを考えてください。